

# あいち森と緑づくり事業 アンケート結果

＜都市緑化推進事業実施者アンケート＞

(都2-2) 都市緑化一市町村担当者の理解・意識

総数 54市町村 回答数 54市町村 回収率 100%

問1 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、実際に効果があったと感じることはありますか。(複数回答可)

1. 大気の浄化 (4)
2. 二酸化炭素の吸収 (3)
3. 景観が美しくなった (30)
4. 生き物の増加 (8)
5. 防音 (2)
6. 防風 (2)
7. 防塵 (12)
8. 夏場に涼しくなった (8)
9. 冷暖房費が減少した (0)
10. 緑陰 (10)
11. その他 (6)

- ・ 民有地において個人や法人が緑化を行う行為の後押しとなった。
- ・ 緑化意識の啓発。
- ・ 防災対策等。
- ・ 地熱を吸収してくれる。
- ・ やすらぎや落ち着きのある空間を取り戻すことができた。
- ・ 町民への事業 PR
- ・ 住民意識 UP

問2 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、利用の面で良かったことはありますか。(複数回答可)

1. 訪問者、見学者が増加した (7)
2. ゴミが減った。清潔になった (6)
3. イベントの開催が増えた (11)
4. 環境学習の利用が増えた (8)
5. 近所との交流が増えた (5)
6. 地域で評判になった (11)
7. その他 (6)

- ・ 転倒に対する恐怖感の軽減により、運動をいとわない子が増えた。
- ・ 新聞記事や地域の情報紙に掲載された。
- ・ 緑化の向上。
- ・ 緑化意識の向上につながった。
- ・ 町民の憩いの場ができた。
- ・ 参加者が植樹した木に愛着を持ってくれた。

問3 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の内容は、あなたの市町村にとって満足できる事業ですか。

1. 満足 (10)

- ・単独市費では、実施が難しい公共施設の芝生化等の緑化事業の展開が可能となった
- ・事業に対する補助があるため。
- ・緑化の保全、整備が図れる。
- ・100%の補助事業であるし、住民の緑化に対する意識改革ができる。

2. やや満足 (22)

- ・対象となるための条件が厳しい部分はあるが、市費が削減し続ける中で緑化推進のための工事、市民参加の支援等に欠かせない。
- ・当初に比べ採択要件が緩和されましたが、まだ、要件が厳しく、実施できない箇所が多数ありますので、さらなる要件緩和をお願いしたい。
- ・今まで積極的な緑化施策がなかったため。
- ・維持管理に必要な芝刈り機等の備品も補助対象としてほしい。
- ・「身近な緑づくり事業」においては、公園整備事業を推進することができた。しかし、「緑の街並み推進事業」においては、対象規模が大きい間接補助の対象者が限られるということと、緑化面積等の計算が難しく申請にいたるまでにかかなりの時間と労力を要することが、大きなハードルとなっている。
- ・都市緑化に寄与できる補助制度であり満足している。
- ・民間への補助としては非常に有用であるが、公共整備（公園・街路樹）の面からは緑化のみが補助対象のため、扱いづらい部分がある（緑化のみの事業は、周辺住民にも受け入れられにくい）
- ・緑化施設が増加したため。
- ・県民参加緑づくり事業を毎年実施しており、緑化推進が図れているため。
- ・公園の枯れた樹林を補植することができた。

3. どちらでもない (4)

- ・県民参加の緑づくり以外の補助事業については、市民へのPR及び活用が進んでいないから。
- ・民有地緑化が増加するメリットはあるが、事務手続き等が煩雑なため。
- ・当市では、事業を活用しきれていない。

4. やや不満 (3)

- ・緑化面積の制約など補助条件が厳しく、何が補助対象になるかわかりづらいため、緩和及び運用しやすいようにしてほしい。とくに、身近な緑づくり事業において、1箇所あたり100㎡以上という条件は厳しいと考えられます。
- ・交付対象となる支出項目の制限が厳しい。
- ・新規のみの適用であり、維持管理にも心配りが欲しい。

5. 不満 (3)

- ・緑の街並み推進事業 現補助対象条件では該当させることができないため。

- ・もっと条件を緩和してください。
- ・事業採択要件に満たないため、事業（申請）できない
- ・事業採択要件見合う事業が少ない
- ・都市部と違い緑が少なくない
- ・各市町・団体等に税金を均等に配分（事業）できているか疑問である。

問4 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を今後も続けていった方が良いと思いますか。

#### 4-1 身近な緑づくり事業

##### 1. 続けた方が良い（42）

- ・公共緑化を増やすため
- ・緑地保護につながるため

##### 2. 続けなくて良い（1）

- ・税を徴収してまで続けなくても良いと思う。

#### 4-2 緑の街並み推進事業

##### 1. 続けた方が良い（39）

- ・公共緑化のみでは限界なため
- ・市街地での緑化が増えるため

##### 2. 続けなくて良い（5）

- ・市の負担を強いるため、間接補助でなく県の直接補助で行うべき
- ・補助対象条件が変わらないなら
- ・税を徴収してまで続けなくても良いと思う。
- ・事業採択要件に満たないため、事業（申請）できない。
- ・業務に係る人員不足。

#### 4-3 美しい並木道再生事業

##### 1. 続けた方が良い（38）

- ・良好な景観を形成するため・

##### 2. 続けなくて良い（5）

- ・街路樹は必ずしも地域に愛されていない
- ・市内で事例がないため。
- ・街路樹の維持管理に多くの費用が必要なため
- ・税を徴収してまで続けなくても良いと思う。
- ・事業がない

#### 4-4 県民参加緑づくり事業

##### 1. 続けた方が良い（43）

- ・緑の大切さを周知するため

##### 2. 続けなくて良い（2）

- ・植樹場所が限定されるため
- ・税を徴収してまで続けなくても良いと思う。

問5 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業について、以下の内容を変えたほうが良いと思いますか。

5-1 身近な緑づくり事業の対象規模面積300㎡程度以上

1. 対象規模面積を小さくする (15)

- ・200㎡ (3)
- ・150㎡ (2)
- ・100㎡ (8)
- ・既存の施設に対しては既存緑地も含めて300㎡にする、または新規緑地を100㎡程度に緩和する

2. 対象規模面積はこのままで良い (29)

3. 対象規模面積を大きくする (0)

5-2 緑の街並み推進事業の対象規模面積100㎡程度以上

1. 対象規模面積を小さくする (18)

- ・80㎡ (2)
- ・50㎡ (11)
- ・30㎡ (1)
- ・20㎡ (2)
- ・10㎡ (1)

2. 対象規模面積はこのままで良い (27)

3. 対象規模面積を大きくする (0)

5-3 緑の街並み推進事業の生垣設置延長50m以上

1. 生垣設置延長を小さくする (20)

- ・30m (3)
- ・25m (3)
- ・21m (1)
- ・20m (7)
- ・10m (5)

2. 生垣設置延長はこのままで良い (25)

3. 生垣設置延長を大きくする (0)

5-4 美しい並木道再生事業の計画延長100m以上

1. 計画延長を小さくする (7)

- ・80m (1)
- ・50m (5)

2. 計画延長はこのままで良い (36)

3. 計画延長を大きくする (0)

5-5 県民参加緑づくり事業の参加者延べ100人以上

1. 参加者を少なくする (14)

- ・50人 (11)

- ・ 30 人 (1)
  - ・ 20 人 (1)
  - 2. 参加者はこのままで良い (32)
    - ・ スタッフ等も含めた延べ人数であれば
  - 3. 参加者を多くする (0)
- 5-6 県民参加緑づくり事業の講師派遣の参加者 20 人以上
- 1. 参加者を少なくする (4)
    - ・ 15 人 (1)
    - ・ 10 人 (1)
    - ・ 0 人 (1)
  - 2. 参加者はこのままで良い (40)
  - 3. 参加者を多くする (0)

問 6 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を一度も実施していない市町村にお聞きします。貴市町村で、都市緑化推進事業を実施していない理由を教えてください。

- ・ 応募がない。
- ・ 補助上限額、交付条件、補助対象が限定されているので、使いづらい。
- ・ 市民及び行政内部からの事業要望がなかったため。ただし、平成 25 年度に事業実施予定（概算要望提出済み）。
- ・ 現在、あいち森と緑づくり都市緑化推進事業に関する実施要領を策定中です。策定次第、事業実施を検討していきます。
- ・ 都市緑化推進事業について、市民等からの要望もなく、該当する事業がなかったため、実施をしていない。
- ・ 人がいないため。
- ・ 平成 25 年度実施予定。
- ・ 参加しやすい事業がないため。
- ・ 事業者が当初計画があるとのことで申請をしても最終的な予算がないとの理由で辞退してしまう。
- ・ 山間部に位置し、森林が豊富に存在するため。
- ・ 山林が多いため、間伐事業を行っている。

(都6) 都市緑化—芝生化事業に対する市町村担当者(保育園等)の理解、意識

回答数 13市町村 26施設

問1 あいち森と緑づくり事業は、どこで知りましたか。

1. 新聞 (0)
2. 県、市町村の広報誌等 (14)
3. ポスター、チラシ等 (0)
4. ホームページ (0)
5. 建設会社、設計会社等 (0)
6. その他 (14)
  - ・県からの通知 (3)
  - ・市役所(担当課含む) (8)
  - ・市の事業 (1)
  - ・あいち森と緑づくり事業報告会 (1)
  - ・業務上知り得た (1)

問2 今回の芝生化を行ったのは、あいち森と緑づくり事業の補助金があったからですか。

1. 補助金があったから実施した (19)
2. 補助金がなくても実施した (7)

問3 芝生化の実施により、実際に効果があったと感じることはありますか。(複数回答可)

1. 大気の浄化 (5)
2. 二酸化炭素の吸収 (2)
3. 景観が美しくなった (22)
4. 生き物の増加 (11)
5. 防音 (0)
6. 防風 (0)
7. 防塵 (20)
8. 夏場に涼しくなった (12)
9. 冷暖房費が減少した (1)
10. その他 (6)
  - ・子どもが安全に遊べる場所が増えた。
  - ・園児が転んでもケガをしなくなった。
  - ・子どもたちが素足になって遊ぶことを喜んでいる。
  - ・トンボが子ども目線に飛んでいるため子どもたちによい自然環境となっている。
  - ・子どもの遊んでいる様子がゆったりしている。
  - ・現在育成中のため、不明である。

問4 芝生化の実施により、利用の面で良かったことはありますか。(複数回答可)

1. 訪問者、見学者が増加した (9)
2. ゴミが減った。清潔になった (5)
3. イベントの開催が増えた (4)
4. 環境学習の利用が増えた (5)
5. 近所との交流が増えた (7)
6. 地域で評判になった (14)
7. その他 (7)
  - ・今のところありません。
  - ・園児の怪我がなくなった。
  - ・芝生の環境がよいからと入園を希望する方がいた。
  - ・現在育成中のため、不明である。
  - ・防塵、緑が増え照り返しが減し視覚的にも涼しく感じる。
  - ・運動会に参加してくださった保護者、祖父母の方に好評だった。
  - ・擦り傷等の怪我が減った。

問5 芝生化された校庭・園庭を子どもたちはどのように利用していますか。(複数回答可)

1. 授業 (2)
2. 自由研究 (0)
3. クラブ活動 (2)
4. 遊び (26)
5. 維持管理活動 (8)
6. イベント (11)
7. その他 (2)
  - ・園庭で食事をしようと思っている。
  - ・スプリンクラーでの水遊び。

問6 芝生化したことで子どもたちへどのような効果がありましたか(複数回答可)

1. 体力がついた (1)
2. けがをしなくなった (18)
3. 運動成績向上 (2)
4. 環境への興味 (11)
5. 食事をよく食べる (0)
6. 睡眠時間増加 (0)
7. 活発になった (6)
8. その他 (6)
  - ・現在のところまだ効果は見られません。
  - ・維持管理活動への積極的な取り組み

- ・芝生化により、昨年までは来なかった蝶やトンボなどの昆虫等が園庭に見られるようになり、それを捕まえるため園児たちが園庭を活発に動きまわり、自分たちが捕まえた生物を大切に育てること、また自分たちの植えた芝生を「芝生ちゃん大事にしないと」と植物等への愛着を持った。
- ・3歳未満児が園庭に出ることが増えた。
- ・素足で遊ぶことが多くなった。
- ・現在育成中のため、効果がわかるまでには至っていない。
- ・転んでもけがが小さくてすむ。

問7 芝生化した校庭・園庭について、情報公開、PRをどのように行っていますか  
(複数回答可)

1. ホームページ (13)
2. 団体の広報誌 (6)
3. マスコミ等の取材 (8)
4. パンフレット (1)
5. PR看板の設置 (5)
6. 他団体への紹介 (2)
7. その他 (4)
  - ・園便り、地域への通信
  - ・地域施設内の掲示
  - ・地域コミュニティの催し物
  - ・イベント時に来園者に対してPR、常時訪問者へPR等

問8 芝生化の実施により、その他どのような効果がありましたか。

- ・芝生の緑が目によいことから、精神的にリラックスできる。
- ・残念ながら、今のところ特にありません。
- ・室内への砂埃の侵入がなくなった。
- ・因果関係は不明だが、園児のインフルエンザ罹患数が減少した。
- ・園児が自然に裸足で園庭で遊ぶようになった。
- ・参加者同士の絆の創出。
- ・緑化に対する関心の高まり。
- ・冬、芝生で遊んだり、体育の授業に活用できた。コミュニティの各種行事の時に利用、活用している。
- ・芝生を維持管理するための芝刈り等を地域ボランティアや保護者により行うことで、地域コミュニケーションの形成に役立った。
- ・裸足保育が出来るようになり、園児の戸外が活発になった。
- ・芝生の上で寝ころがったり、座ったりと肌での感触を楽しんでいる。
- ・父母の会活動の中で、父母の会が中心となり芝刈りを行なっているが、会員の方の協力が得られ「芝刈りは大変だが楽しい。」という声が多く聞かれ、保育園とも

協力体制が深まっている。

- ・地域の方々とのつながりが深まった。
- ・残暑の中運動会の練習を行っても、地面からの照り返しがなく子ども達に負担なく練習に取り組める。
- ・園児・職員・保護者の情緒の安定や癒しの場になっている。
- ・気温が上昇した夏の間も体感温度（足から伝わる）は、それほど暑くなかったため、戸外遊びが可能であった。
- ・芝生化になってから裸足で遊ぶようになり、土踏まず形成などにつながっている。
- ・防塵により保育室等に砂が入らなり、保育の環境が良くなった。また、床のワックスも取れにくくなった。
- ・芝生目的で未就園児を連れて遊びに来る人がいる。
- ・芝生の上に雪が積り、雪だるまを作ったときにも、土がつかないため黒くならず白い雪だるまができた。また雪が降った後でも園庭のコンディションが良い。
- ・未就園の園庭開放を行なっているが、親子で遊びに来るたびに「芝生はいいですね」と話される。
- ・素足で走り回る事ができ、足の発育が促進されることが期待できる。
- ・スプリングラーの水で遊べて児童や園児親子が楽しめた。
- ・親子の利用人数が増加した。
- ・現在育成中のため、不明である。
- ・あいち森と緑づくり事業及びあいち森と緑づくり税の仕組み、取組みを市民に理解してもらえた。
- ・園庭にやや傾斜のあるため、大雨が降ると水の流れができ、園庭の砂を側溝に運ぶので、定期的に側溝の掃除を行う必要があった。芝生が密集してからは、水の流れはあっても砂の流失がなくなった。さらに傾斜の強い芝生化されてない園庭の砂止めとして、今後芝をはることを検討している。
- ・職員、保護者の緑化に対する意識が高まった。
- ・雨が降った後も、園庭のコンディションが保てる。
- ・緑のカーテン事業と併せて、視覚的にも熱さの軽減があった。
- ・昆虫（バッタ、トンボなど）が来るようになって、子どもがよろこんでいる。
- ・職員、保護者の緑化に対する意識が高まりました。
- ・砂埃がととも減ったため、保育室にはいつてくる砂埃がととも少なくなった。

問9 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の内容は、あなたにとって満足できる事業でしたか。

#### 1. 満足（11）

- ・保育環境が向上したため。
- ・保育所の特色として広くPRできた。
- ・新たな事業として、園庭芝生化を保育園の利用拡大に大いに活用できて満足しています。

- ・保育園だけの予算では出来ないが、補助金等や何らかのきっかけがあると実施に踏み切れる。

- ・環境が向上した。

## 2. やや満足 (11)

- ・参加者 100 人の募集は大変だった。

- ・維持管理に必要な芝刈り機等の備品も補助対象として欲しい。

- ・芝生が根付くまで、子どもたちの遊びが制限せざるを得ず、遊び方の工夫にもつなげるようにしたが無理があり、生え揃うまでの管理が大変であること。

- ・管理に時間を要する。

- ・園児の園庭利用率の高さや害虫の発生等により芝を園庭一面に維持することがとても難しい。

## 3. どちらでもない (2)

- ・環境面でのメリットはあるが、小学校の運動場の利用場面の多様さと管理することの負担の大きななどのデメリットの両面がある。

## 4. やや不満 (2)

- ・自然に恵まれた緑豊かな学校に緑化推進事業のお金を使うことに疑問を感じました。県としての緑化の取り組みはよいと思いますが、各学校の実態にあわせて資金を使うことが大切かと思います。また、芝生化と言っても、専門の職員がいるわけではないので、芝生化1年目の夏は、土、日、祝日まで朝、夕、2回、教員が水まきをしたり、雑草との戦いに苦しんだり、と大変な負担がありました。さらに、その苦勞が報われればいいのですが、そこまでしても、土地の条件が悪かったことと、児童数100名程では草ぬきが追いつかないことなど、悪条件が重なり、順調に成育していない現状です。学校現場に無理な負担がかからないよう、先を見通した計画が必要だと思います。

- ・芝刈り機や物置は芝生化後、必ず必要なものであるにも拘わらず補助対象外となっている点はおかしい。

## 5. 不満 (0)

問10 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を今後も続けていった方が良いと思いますか。
--

### 1. 続けた方が良い (24)

### 2. 続けなくて良い (1)

- ・問9で答えたように、現状の実施方法であれば、続けることは現場にとって困ると思います。問題点が解消されたうえで、緑化の必要性のある地域の学校で実施されるのであればとても意味のある素晴らしい事業だと思います。

- ・どちらとも言えない。この事業単一で判断するなら良いことかもしれないが、財政難の中、トータル的にどう位置づけするか考える必要がある。

問11 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業について、以下の内容を変えたほうが良いと思いますか。

11-1 県民参加緑づくり事業の参加者延べ100人以上

1. 参加者を少なくする(4)(具体的に、 人にする)  
・50人(4)
2. 参加者はこのままで良い(21)
3. 参加者を多くする(0)(具体的に、 人にする)

問12 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業について、問11の他に、どのような内容に変えたら良くなると思いますか。

- ・民間保育所や私立幼稚園の園庭も補助対象とする。
- ・身近な緑づくり事業に「3.普段は緑地公園として津波発生時には避難場所としても利用できる高台緑地公園を整備する事業」を追加する。
- ・芝生の維持管理に必要な備品(移動可能なもの。芝刈り機など)、消耗品(水やり用のホースなど)について補助の対象にする。
- ・芝生の維持管理が必要となるが、地域ボランティアや保護者の協力を得進めていくために、芝刈り機等の備品も補助対象として欲しい。芝生(緑化)を通じ、長期的な地域コミュニケーションを形成するため(協力を得やすくするため)の用品として必要と考える。
- ・事業を実施しても、維持の面で費用・管理が続かないことが多いが、街の緑が増えることは良いことなので、芝生にしても街路樹にしても整備をしていくと良いと思います。
- ・芝生化した箇所に冬芝の種子を蒔く場合、その経費を補助対象とする。
- ・ぬいぐるみのキャラクターなど子どもたちにも楽しめる巡回事業など実施してくれるとうれしいですね。

問13 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業で、新たに加えてほしい事業がありましたらご提案ください。

- ・市街地郊外に点在する遊休農地に季節に応じて蓮華や、コスモス、菜の花などを植える事業。
- ・森と緑の多い公園整備
- ・芝生や新緑、紅葉を楽しませしてくれる植樹
- ・遊具でなく自然的環境(木々、丘、小道など)の公園作り。
- ・森・川など自然を楽しむ体験(スタンプラリー、ウォーキング、自然物を使った遊びなど)
- ・身近な山の登山道の整備
- ・子どもの集まる公園、保育園に実のなる木を植え、それを利用したイベントを

行う。

- ・河川敷を生かした公園づくり（散歩道）
- ・新興住宅地は遊歩道や緑化が進んでいるのに、旧部落は民家が密集あるいは点在していることで、遊歩道や市街地での緑化、公園の整備が遅れているように思うので、進めてほしい。
- ・園庭に大きな木（実のなる）がないので木陰を作りたいと思います。

問14 都市の緑について、ご意見、ご感想などがありましたら自由に書いてください。

- ・緑豊かな町になることには、大賛成です。本校の場合は、豊かな緑に囲まれ、自然にも恵まれています。このような地域には、人工的に緑を増やすのではなく、今ある自然を守っていくことに学校教育としても力を入れていきたいと考えます。地域、学校の実態に合わせて、意味のある活動にしていけるとよいと思います。
- ・市は市街地も樹木が多く整備されている。また、530運動発祥の地でもあり、環境整備には非常に関心が高い地域であることを積極的にPRしたいと思う。
- ・市内にもせっかく良い公園等があるのに、その整備がきちんとできてない。利用度、満足度が高くなって行かない。
- ・キャラクターを招いてのPRもあると、子どもたちは喜び、関心も高まるので、どんどんアピールして欲しい。
- ・人間は、本来豊かな自然の中で生活することが望ましいと思います。
- ・できるだけ緑を多くし、目にも心にも優しい環境づくりを進めていくと良いと思います。
- ・都市に限らず、緑を増やして行ってほしい。
- ・アスファルトではなく、芝生の場所を増やしてほしい。
- ・都市に緑が増えることについては、大賛成ですが、まず現存する緑の保全を優先し、その上でさらなる緑化推進であってほしい。子どもの成長と同じで、植えっぱなしでは、いずれ問題が持ち上がるだろう。緑を守り育てるために何が必要か、また推進するにあたって、失われるものはないかなども、十分検討して取り組んでいただきたい。
- ・雨後の園庭コンディションをあまり気にしなくても使用できる。
- ・園庭の使用頻度が高いので、足圧により芝が擦り切れる。
- ・芝生の緑に癒される。
- ・素足になって遊ぶ事ができる。
- ・先日聞いたことですが、すばらしい住宅街に住まわれる方々が揃って街路樹を切ってほしいとのこと、落葉を掃くのがめんどろとかご近所付き合いもめんどろくさい等々。自然の大切さ、緑化推進も住む人の絆や心が育つような運動につながるとういいですね。
- ・緑が増えることはとてもよいが、それに伴う管理や害虫の駆除も必要になってくるので大変な面はある。

- ・緑地化に向けた取り組みはとても良いことだと思う。しかし、維持をしていくためには維持費もかかるため、その取り組みが根付くまでの管理費用も維持して欲しい。やりっぱなしの事業になりかねない。

(都7) 都市緑化—民間事業者の理解・意識

総数 184件 回答数 108件 回収率 58.7%

問1 あいち森と緑づくり事業は、どこで知りましたか。

1. 新聞 ( 4)
2. 県、市町村の広報誌等 (25)
3. ポスター、チラシ等 ( 3)
4. ホームページ (16)
5. 建設会社、設計会社等 (63)
6. その他 ( 7)
  - ・社長から
  - ・市の職員との会話
  - ・知人から教えてもらった。
  - ・知人から聞いた。
  - ・市から言われたので
  - ・造園業者
  - ・知人。

問2 あなたが今回の緑化事業を行ったのは、あいち森と緑づくり事業の補助金があったからですか。

1. 補助金があったから実施した (53)
  - ・より一層充実した計画にした。
2. 補助金がなくても実施した (53)

問3 都市の緑はヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全、地震発生時の火災延焼防止などの防災機能の発揮に役立っていることを知っていましたか。

1. 知っていた (93)
2. 知らなかった (15)

問4 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、実際に効果があったと感じることはありますか。(複数回答可)

1. 大気の浄化 (25)
2. 二酸化炭素の吸収 (20)
3. 景観が美しくなった (93)
4. 生き物の増加 (28)
5. 防音 ( 3)
6. 防風 ( 3)
7. 防塵 ( 8)
8. 夏場に涼しくなった (27)
  - ・厳しい暑さの中で、土や緑のある場所での涼しさを改めて実感した。

9. 冷暖房費が減少した ( 8 )
10. 緑陰 ( 35 )
11. その他 ( 10 )
- ・具体的な箇所での緑化事業の内容を知ったところでは、その良さを知ることができるが、一般的に緑化事業の影響は感じられない。
  - ・冬場に暖かくなった。
  - ・社員の緑化意識の高揚。
  - ・社員寮の屋上への設置のため、社員が憩いの場としての利用が増加した。
  - ・感じない。(2)
  - ・緑が増えることで心安らぐ街作りが促進されている。
  - ・心の安らぎが得られる。
  - ・従業員が集う憩いの場ができました。
  - ・生垣による防犯。

問5 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、利用の面で良かったことはありますか。(複数回答可)

1. 訪問者、見学者が増加した ( 21 )
2. ゴミが減った。清潔になった ( 19 )
3. イベントの開催が増えた ( 5 )
- ・建設業者の。
4. 環境学習の利用が増えた ( 12 )
5. 近所との交流が増えた ( 21 )
6. 地域で評判になった ( 22 )
7. その他 ( 29 )
- ・休憩場所が増えたこと。
  - ・住民、訪問者、見学者が美しい景観に喜んでいる。
  - ・アスファルトの駐車場の中に芝や木があることにより景観が美しく、夏涼しく感じられる。
  - ・自発的に緑化する者が増えたと考えます。
  - ・高齢者施設の屋上緑化で、入居者等の方の散歩など出歩くことに役立っている。
  - ・特になし。(8)
  - ・変化はあまりない。
  - ・補助により、植栽の充実が可能となった。
  - ・補助金支援。
  - ・敷地の側を歩くのが楽しくなった。
  - ・通る人が見たり近づいたり表情がやわらいでいるように感じている。
  - ・この制度を利用する以前より、全社的な取組みとして森作りを推進している。
  - ・地域の緑化推進意識付けに役立っている気がする。
  - ・緑が増え、環境が良くなった気がする。

- ・個人宅の庭のため、大きなことはありませんが、家族内で緑を楽しむのはもちろん、ご近所の方や友人にも好評です。
- ・営業時の話題の一つとなった。

問6 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施箇所について、情報公開、PRをどのように行っていますか（複数回答可）

- ・社員の意識向上
1. ホームページ (14)
  2. 団体の広報誌 (3)
  3. マスコミ等の取材 (2)
  4. パンフレット (13)
  5. PR看板の設置 (56)
  6. 他団体への紹介 (8)
  7. その他 (6)
- ・緑化推進事業としてではないが、緑化率が高いことをツールで説明している。
  - ・自分でみんなに話をしてみてもらっている。
  - ・特にはありませんが、外構屋のブログに写真が出ていた。
  - ・尋ねられた人にお答えしています。
  - ・知人に紹介。
  - ・地元小学校の課外授業でビオトープを活用し宣伝。

問7 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の内容は、あなたにとって満足できる事業でしたか。

1. 満足 (44)
  - ・居住地、近隣地域の景観向上と環境への配慮の両立に役立つ。
  - ・補助金交付を受けることができた。
  - ・景観が良くなった。
  - ・補助をいただいたことで緑化が実現し、少しでもヒートアイランド現象の緩和に役立っていると感じられるため。
  - ・この事業がなかったら駐車場の緑化はなかった。
  - ・投資予算（緑地設置に関する）の足しになった。
  - ・実施を迷っていたが、補助金のおかげで実施を決めた。
  - ・約半分の助成をいただけたので。
  - ・街に緑は少しでも多い方がよい。
  - ・緑をおおくもてた。
  - ・緑化に対する取組みのきっかけとなった。
  - ・愛知県にこのような制度があること自体が大変ありがたいです。
  - ・緑が増えると気分的にほっとできる。
  - ・緑を増やすことで、自分も気持ちよく、周りにも楽しんでもらえて、助成金も

いただけたので、とても得をしたような気がします。

- ・家計的に一番後回しになる緑化について、色々と考え行うことができた。
- ・生垣を設置しようと思って、なおかつ雨水タンクも補助対象になった。

2. やや満足 (41)

- ・補助金がいただけること。実際に緑量が増えていること。
- ・補助金は想定外の収入であった。
- ・やはり補助金助成はありがたかった。
- ・都市の緑化に微力ながら貢献できたこと。
- ・思いがけない補助がありました。
- ・景観が美しくなることは良いこと。
- ・助成金の率が低い。
- ・星2つの評価であったため。
- ・補助金があるから。
- ・緑化導入に係る負担が減り助かった一方で、維持のために最新のシステムを併用する緑化を行っても、そうでない方式と同じ補助であったことが残念だった。
- ・満足でないのは、緑を維持するのに長い年月を考えると莫大なお金がかかる。
- ・自分自身が勉強不足であり、完全に役立てていない

3. どちらでもない (15)

- ・以前より緑化はされていたし、推進されなくても実施する予定であった。
- ・もともと自然が好きで、花木が好きなので。

4. やや不満 (1)

- ・補助金不足

5. 不満 (3)

- ・住宅地の緑化率の規制が不足。建坪率の基準が高すぎる。
- ・希望する樹木が植えられなかった。

問8 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を今後も続けていった方が良いと思いますか。

1. 続けた方が良い (99)

- ・居住地、近隣地域の景観向上と環境への配慮の両立に役立つ。
- ・緑化に対する意識が向上するため。
- ・生活環境が良くなる。

2. 続けなくて良い (6)

- ・この為の税を取ってまで実施すべきか。
- ・宅地開発が多すぎる。
- ・行政の横の繋がりが弱く、事業毎で勝手に実施。
- ・できる人とできない人がいると思う。かなり無理な事業だし、こちらの質問にも担当者すらわからないことばかりでした。
- ・税金の無駄だと思う。

・いたずらが多く、転居したい。

問9 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業について、以下の内容を変えたほうが良いと思いますか。

9-1 緑の街並み推進事業の対象規模面積100㎡程度以上

1. 対象規模面積を小さくする(16)

- ・80㎡(1)
- ・50㎡(7)
- ・40㎡(2)
- ・20㎡(2)
- ・よくわからない。地区により変えるべきと思う。
- ・少しずつでも対象を広げて頂くと緑化が進むと思う。

2. 対象規模面積はこのままで良い(79)

3. 対象規模面積を大きくする(2)

9-2 緑の街並み推進事業の生垣設置延長50m以上

1. 生垣設置延長を小さくする(22)

- ・40m(1)
- ・30m(4)
- ・25m(4)
- ・20m(3)
- ・10m(2)
- ・2m(1)
- ・少しずつでも対象を広げると緑化が進むと思う。

2. 生垣設置延長はこのままで良い(68)

3. 生垣設置延長を大きくする(3)

- ・100m(1)
- ・80m(1)
- ・よくわからない。地区により変えるべきと思う。
- ・一般家庭がもっとわかりやすいようにしないとできない。専門家に頼まないといけないのはおかしい。

問10 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業について、問9の他に、どのような内容に変えたら良くなると思いますか。(36)

- ・緑化面積の算定方法を簡易化した方がよい。
- ・受付窓口の増設。
- ・緑化、ガーデニングイベント開催による市民への認知度向上。
- ・ウォーキング(健康作り)などとのコラボ企画による周知。
- ・現存する森林を切り開かないこと。
- ・定期的に維持できているか確認すべきだと思います。

- ・高層マンション建設に際して、一定水準以上の緑化を義務づける(屋上緑化含む)。
- ・遊休地の活用。ほとんどは時間制駐車場になっている。緑化駐車場になればと思います。
- ・都市緑化推進事業による助成金制度があまり県民に認知されていないように思う。もっとアピールが必要。
- ・花壇などにも適用してみてもよい。→(小規模の道路端のもの)
- ・業務内容より、宅地開発や商業施設などの為に木や緑の伐採を行うことが一番の問題であると思う。
- ・対象を拡大して、より多くの人を利用できるようにする。
- ・我が家の地域は緑化規制があり、近所でも緑が多く夏は街中よりひんやり涼しく感じました。土=雑草→草取り→大変というイメージが強く、コンクリートにしてしまう方が多いかもしれません。「対象規模面積を小さくする」「施主や外構屋などにアピール」することで利用が増えると思います。
- ・対象規模よりも、芝=雑草・維持管理、対象なる植栽の種類が少ない。場所、気候などにより成長しやすい、しにくいがある。柔軟に選択できると魅力が上がると考えます。
- ・維持管理について、報告書や報告形態を明確にしてもらえると助かります。
- ・申請しやすくする。
- ・年1回の事業報告(写真提出の義務)。
- ・もう少し小規模の現場でも実施しやすくしてほしい。
- ・各家庭、企業においても新規建屋から緑化を義務づける必要有り。
- ・各地で造成が進み、緑化率は県全体で低下している。減少させない造成事業を。
- ・とにかく補助金を使いやすくサポートする。
- ・対象規模を小さくすることでもっと多くの方が利用すると思います。
- ・市民レベルを理解できる方が方針を決めてほしい。
- ・業者向けではなく個人向けの緑化推進の振興。
- ・原則、小さい政府が良いと思っていますが、もし行うなら、補助を受ける時点で公開を義務化してはどうでしょう。
- ・維持管理に思いの外労力、時間、費用がかかるため、こうした面での一部補助があると良いと思います。
- ・対象規模を現在より大きくすると土地所有者が少なくなる(申請対象者)。
- ・具体的には言いづらいが、緑化事業を希望されている人にはできるだけ審査基準を易しくすることができると良いと思う。
- ・都市部であれば屋上も含め公園の設置整備。
- ・大高緑地の中を自転車で通って通勤していますが、あれだけのボリュームの森だと3℃くらい気温の低下を実感できます。夏の間は本当に涼しいです。こうした、森の保存、拡張と、家と家の間の緑の推進ができたらと思います。
- ・緑化に対する興味はあっても、育成させる自信がない人も多いと思います。助成金は緑化事業へのチャレンジのきっかけとして、とても有意義なものでした。新

設時だけでなく維持管理への助成や勉強会等があれば良いと思います。維持管理方法がわからず困っています。

- ・提出書類の（必要性を十分吟味した上での）簡略化。
- ・個人の住居生垣へも利用が増えるよう PR を強化されてはいかがでしょうか。
- ・専門業者、施工業者の緑化施工実績によるマイル制を導入したらどうか。専門業者による積極的な提案、PR につながる。
- ・対象家庭が増えるような面積や生垣にした方がよい（小さくする）。一般家庭導入の方が、後々管理もいきとどくと思うから。管理費の公費負担もなくなる。
- ・補助金の増額。
- ・ネットなどの都市緑化推進事業のことをもっとわかりやすく説明してほしい。
- ・緑を維持する方法に優れたものや、多様な植物で緑化を進めるような事業には補助率を高くすると美しい緑を保ちやすく生物多様性にも貢献できて良いのではないかと思います。
- ・移植の根切りから補助対象にすれば良い木が残るのでは。ただし、巨木はお金がかかりすぎるので限度額があっても。
- ・松枯れ、ナラ枯れによる枯れ木の早急な撤去。
- ・緑は維持しないと意味がないが、それには作る以上のお金がかかる。それも踏まえて考えていただきたい。
- ・周知の拡大。

問 1 1 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業で、新たに加えてほしい事業がありましたらご提案ください。（20）

- ・緑化に伴う二酸化炭素排出の抑制に係わる補助。
- ・企業、個人の緑化モデル事業、モデル認定による一定期間の補助。
- ・緑化だけでなく、地域の景観維持向上に対する支援（地域活動の活性化）。街路樹、公園などの整備が不十分なところがある。
- ・「～並木の道」とか、名所となるような道になるように街路樹を植えるなど、住民がその緑を見て癒やされるような街作り、緑づくり。
- ・ビル、マンションなどの建設抑制。
- ・県道等には、街路樹他緑化帯があると思うが、その緑化について希望があれば地区の住民組織の有志あるいは NPO 団体等に管理を委ねたらどうか。現状は、造園業者に管理させていると思うが、予算不足で雑草生い茂り、また緑化木の欠株も目立つ。一定の予算で（造園業者よりも安く）地区住民に任せるというのも手だと思う。高齢化が進み、地区のお年寄りも社会貢献と思いき甲斐となるかも。
- ・新築される方には対象規模面積や生垣設置長さを縮小し、補助金制度を展開する（ハウスメーカーの協力をもらう）
- ・特になし。
- ・植栽の改修（全面植替え、散水設備の設置など）への助成。
- ・維持管理（剪定、除草、施肥、消毒など）費用への助成。

- ・多年草のハーブなどおもしろいと思う。ランニングコスト面（維持）でどうか。
- ・森林公園などの活用、イベント。
- ・緑化後の保全指導。
- ・緑化を進めるばかりでなく、緑化率の低下を食い止める事業も望む。
- ・自宅建築における緑化の義務化。
- ・住宅密集地とか小工業地帯に公有地を買収して公共緑化の推進をする。
- ・家庭用設置の雨水再利用のダムを全額+設置費用を補助してほしい。
- ・緑化後の緑化維持へのアドバイス、メンテナンスが大切。
- ・都市の中に自然の森林公園や心を和ませる公共のビオトープを創造してはいいかでしょうか。
- ・個人宅でも、素晴らしいお庭で緑を保っている事例のコンテスト、表彰。
- ・有効活用していない土地がありましたが、雑草が茂るのも近所迷惑と思い舗装して駐車場にしてしまいましたが、市民農園や緑地・公園などに貸すことができたらしいのにと感じたことがあります。
- ・家に薪ストーブがあるので、山の森の手入れ→薪として頂けるイベントがあれば参加したいと思います。
- ・ビオトープや緑化への散水を目的とした井戸の採掘や大型の雨水貯留施設等も補助の対象としていただけるとさらによいと思います。
- ・家庭の生ゴミを処理するコンポストみたいなものも補助対象にすればゴミの削減と自然の肥料で大地に優しい。
- ・不法投棄取り締まりの強化。
- ・里山美化。

問12 今後、さらに都市の緑を増やしていくために、愛知県や市町村にどのような取組を望んでいますか。(複数回答可)

1. 家の庭や生垣の緑化の助成 (47)
2. ビル(マンション、オフィスビル等)の屋上緑化や壁面緑化、駐車場緑化への助成 (61)
3. 道路の街路樹や中央分離帯の緑化 (43)
  - ・住民参加型で。
4. 公園緑地の整備 (51)
5. 学校や市役所など公共施設の緑化 (36)
6. 既存民有林の樹林地の買い取り(公有地化)・保護・保全・整備 (30)
  - ・路線価で計算も必要だが、所有者の税金面での援助も必要だと思う。主に相続税、固定資産税。払えなくて売却→造成→緑がなくなる
7. その他 (9)
  - ・緑化規模の大きい所は義務化する。
  - ・ガーデニングイベント開催による緑化意識向上。
  - ・ボランティアを募って秋口の公園などの落ち葉集めや、ビルの屋上の菜園を貸し出し(農業や園芸の専門家の指導付き)したりすることによって、もっと緑

の大切さを小さな子どもに教育できる場をもってほしい。

- ・緑化に関する法改正や制限 例①個人宅も面積にかかわらず緑化を義務づける。
- ②守っていない所から緑化税（仮）を徴収し緑づくり税にすればよい。
- ・補助金の申請が難しすぎて個人レベルでは難しい。業者のみしか申請していないのはその現れ。一般の方が申請しやすいように制度変更すべき。
- ・緑化がない法人へのペナルティー。
- ・校庭に貯水槽を設置して芝生化。
- ・公共河川の水を緑化散水に用いてもよい制度。
- ・3, 4, 5, 6の内容は維持管理費の増大になるのでやめた方がよい。

問13 あなたが、今よりも都市の緑に関心や関わりをもてるようになるには、愛知県や市町村にどのような取組を望んでいますか。（複数回答可）

1. 県民への苗木の配付（28）
  - ・希望者のみで可と思います。
2. ガーデニングなどの緑化相談や緑化研修の充実（39）
3. 緑化に関するイベントや緑化講演会、自然観察会の開催（26）
4. 植樹祭の開催（12）
5. 緑化に関する情報誌の発行（24）
6. 緑化に関する情報のホームページ掲載（22）
7. 緑と花のボランティア団体に対する表彰（9）
8. 植樹祭や緑化活動への助成（35）
9. その他（8）
  - ・幅広く助成金を交付する。
  - ・一般的に緑化を推進するのではなく、どのような所をどう緑化したいかを明確にしてから進めるべき。
  - ・法の整備。
  - ・補助金比率の増加。
  - ・小学校等での授業。
  - ・公共施設の完全緑化。
  - ・公園、街路樹に記念植栽をして、末永く面倒を見てもらう。
  - ・道路美化清掃、建築許可に生垣設置を盛り込む。

問14 都市の緑について、ご意見、ご感想などがありましたら自由に書いてください。（30）

- ・広報活動にお金をかける必要はあまりないと思う。HPでの発表で充分。助成金を誰もが受けられるようにすることが周知につながると思います。
- ・都市の緑がただただ失われていっていることは残念です。このたび補助をいただき、少しでも緑化に協力できうれしく思います。町のいたるところで緑を見ることができるようこの事業のさらなる発表を願っています。
- ・税を費やしてまで実施する事ではなく、住民税全体の中で推進すべき事と思う。

一部の人のパフォーマンスの為の政策としか思えない。

- ・街路樹の葉っぱを紅葉する前に枝ごと切り落としてしまうのは理解できない。日本の四季を感じられるように残してほしい。落ち葉を踏んだりしたときの楽しさを子どもたちにも体験できるように葉が落ちてそのままでもいいと思います。
- ・公共施設の緑化、ガーデニングの管理状態があまり良くないと思います。常々の手入れはそれぞれの近くでボランティアなどの協力をあおぎ、関心を持って参加して、皆で楽しむことができれば良いと思います。
- ・今後は、人口減も予想される中、宅地造成が進みすぎている印象があります。
- ・とても大切です。四季折々、変化があるような空間が望ましい。樹木だけでなく、ガーデニングの手法も取り入れ、住民参加型で街中を花一杯とする。
- ・公園を増やす。各地域毎に公園数を設定、造設が必要だと思います。緑の街並み、防災機能、観光保全、住民の憩いの場となる。
- ・今後も助成金制度を何らかの形で継続していつてもらいたい。
- ・緑の充実は、景観の向上や生態系の回復や環境の改善など多くのメリットをもたらすが、その維持管理に多大な負担を要するので、この点に対する助成をお願いしたい。
- ・昔から街中でも街路樹などが多い場所のイメージがあります。車で走っていても整備してある植物や木々を見るとほっとしますし、誰かが大切に手入れをしてくださっていることを思います。都市の緑の維持と郊外の緑の保存を願っています。
- ・近年、緑の見られる景色が少しずつ増えていっていると感じることが多くなりました。子どもと散歩をしていても「この花は〇〇だよ」など会話も増えました。
- ・保存樹マップなどの情報公開など。
- ・現存している樹木の保護、里山を開発行為などで無くさないように。
- ・緑化率の悪い家庭、企業には緑化税等を請求すればよい。
- ・人の金で緑化をやらうとする県や個人の気持ちが理解できない。緑化の進まない根本原因に手が打たれていない。
- ・都市の緑化は頑張っていると思う。
- ・自宅建築における緑化の義務化。
- ・維持管理における補助金助成。
- ・個人ではできない公園整備に事業を集中して頂きたい。
- ・団地の建て直し時、緑地面積を増す。市街地の公営住宅を緑地にし、郊外に移転。
- ・マンションや庭のない住宅で暮らすことも多い中、子どもたちがもっと身近に自然に、鉢植えやプランターではなく、大地に根をおろした緑や花にふれあって過ごすことの大切さを感じます。学校だけでなく、地域の公園や公共施設など、世話をしたり観察して「自分が関わっている、育てている」と感じる箇所を増やすことも良い方法なのではないでしょうか。

- ・公園の使用規制をゆるくした方がよい。キャッチボール、バーベキュー、花見など。緑と市民が直接触れる機会を多くし一体となるようにした方がよい。規制が厳しすぎると思う。
- ・都心部の公園改善（樹木、施設整備）。
- ・申請の簡素化
- ・街路樹を増やし、数十年後市民の憩いの場となるような空間を増やしてほしい。
- ・緑豊かなまちづくりはとても素晴らしいことです。積極的に展開を図って頂きたいと思います。
- ・自宅の新築に際して、庭造りのため緑化の助成金を活用させて頂きましたが、ハウスメーカーの造園担当者も、最終的に依頼した個人の造園業者も、この制度を全く知らなかったり、知ってはいても詳しくない、実際に扱ったことがないなど、知名度の低さに逆に驚いてしまいました。私はたまたま市の広報で見たのを記憶していました。せめて、造園関係者などまさに関わりのある業者には、もう少し周知徹底を図った方が良いのではないのでしょうか。都市では特に園芸や畑をもっとやりたくても、土地がない方もいるのではと思います。お世話をしたい人と、空き地とがうまくマッチングされるような制度があるといいと思います。
- ・中心部の緑は豊かで良いと思います。しかし郊外における個人住宅や事業者の設ける緑を連続させようとしていくなれば、面積だけによらない評価があった方がより多くの緑化が生まれ、点が線に、線が面になっていくと思います。
- ・広い歩道に道路側に街路樹を植えず、歩道の真ん中に植えて、木陰で話ができるサークルベンチなど置き、剪定、施肥、灌水をボランティアや地区の人に管理してもらおう。真ん中なら安全だから。
- ・個人宅であれ、会社であれ、緑を持って維持しているのは社会全体にきれいな空気を提供しているのと同じと考えればもう少し緑の量でお金を付ければよいのでは。電気を作って売ると同じではないか。そうすれば自ずと緑は増えるのでは。
- ・大変素晴らしいことです。末長く続いていくようにして欲しい。